

水産業のスマート化推進支援事業について

令和 4 年 5 月 2 5 日
水産庁増殖推進部研究指導課
海洋技術室先端技術班

スマート農林水産業の全国展開に向けた導入支援事業

【令和3年度補正予算額 7,700百万円】

<対策のポイント>

ポストコロナを見据え、**国産農林水産物の需要増加への対応等**を進めるため、生産性向上に資する**スマート技術の全国展開**に向けて、**サービス事業者が行う技術導入、農林漁業者等が行うスマート機械等の共同購入・共同利用、生産条件に合わせた機械のカスタマイズ**の取組などを推進。

<政策目標>

担い手のほぼすべてがデータを活用した農林水産業を実践 [令和7年度まで]

<事業の内容>

1. 農林水産業支援サービス導入タイプ

経営体が**スマート技術を効率よく利用**できるよう、作業受託等を行う**サービス事業者**が**スマート機械等**を導入する取組を支援。

2. 一括発注タイプ

経営体が**スマート技術を低価格に導入**できるよう、**スマート機械等を一括発注(共同購入)**する取組を支援。

3. 技術カスタマイズ等

1・2の取組に伴走する形で実施する取組（生産条件を踏まえた**スマート機械等のカスタマイズ**や**サービス事業者の人材育成等**）を支援。

4. 共同利用タイプ

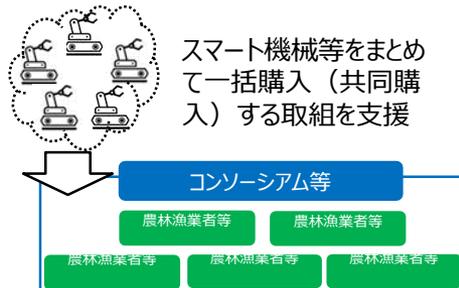
複数の経営体が**スマート技術を共同利用**するために**スマート機械等**を導入する取組を支援。

<事業イメージ>

1. 農林水産業支援サービス導入タイプ

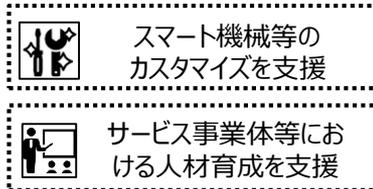


2. 一括発注タイプ

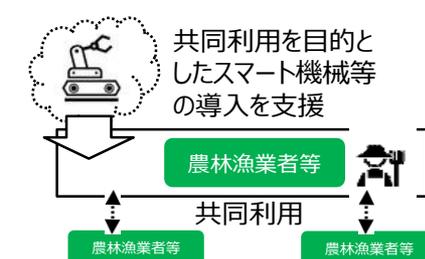


3. 技術カスタマイズ等

①・②の取組に伴走する形で実施する以下の取組を支援



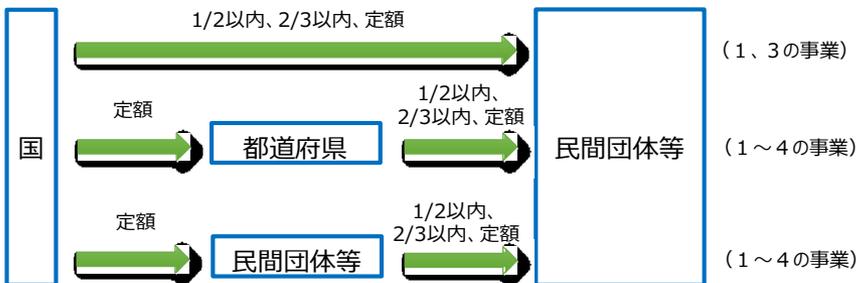
4. 共同利用タイプ



※経営体やサービス事業者の業種によって要件や支援内容が異なる場合があります。

【お問い合わせ先】 農産局技術普及課 (03-6744-2111)
 畜産局畜産振興課 (03-6744-2587)
 林野庁計画課 (03-6744-2339)
 水産庁研究指導課 (03-3591-7410)

<事業の流れ>



水産業のスマート化推進支援事業

事業の種類・メニュー	助成率及び上限額	内容・採択要件等
<p>水産業支援サービス 導入タイプ</p>	<p>≪助成率≫ 1 / 2 (又は 2 / 3 ※)</p> <p>≪補助上限額≫ 1,000万円 (又は1,500万円 ※)</p>	<p>○水産業支援サービスの提供を目的とした機械等の導入を支援。</p> <p><採択要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ●サービスを利用する漁業者数が増えること、又はサービスを利用する漁業者の生産性が向上すること。
<p>一括発注タイプ</p>	<p>※導入する機械等を用いて資源評価・管理又は漁場環境把握の高度化や養殖業成長産業化に資するデータを収集し、国等の試験研究機関に提供する場合</p>	<p>○機械等の一括発注（共同購入）による導入を支援</p> <p><採択要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ●漁業者3者以上で構成するグループ等により申請すること（漁協等の場合には、利用する漁業者が3名以上いること） ●機械等1型式あたり3台以上を導入すること。 ●機械等の導入より生産性が向上すること。 <p>※導入する機械等について、事業実施主体が販売元と価格交渉を行い、価格交渉後の金額を補助対象額とする。</p>
<p>技術カスタマイズ タイプ</p>	<p>≪助成率≫ 定額</p> <p>≪補助上限額≫ ベースとなる機械等に対する助成額</p>	<p>○導入する機器等について、漁業種類や生産方法等によってカスタマイズが必要な場合に、その経費を助成</p>
<p>共同利用タイプ</p>	<p>≪助成率≫ 1 / 2</p> <p>≪補助上限額≫ 100万円</p>	<p>○共同利用する機械等の導入を支援</p> <p><採択要件></p> <ul style="list-style-type: none"> ●漁業者3者以上で構成するグループ等により申請すること。（漁協等の場合には、利用する漁業者が3者以上いること） ●機械等1型式当たりの導入台数が利用者数より少ないこと。 ●機械等の導入により生産性が向上すること。

助成の対象とする機械等について

助成対象とする機械等の具体については、
事業実施主体が選定委員会を設置して、選定を行います。

○助成対象とする機械等の要件

- (1) 漁業において、水温、塩分、潮流、漁獲量、入網状況等のデータや漁海況・操業データを収集・活用し、**操業の効率化や省エネ・省力化**といった生産性の向上のために活用するもの。
- (2) 養殖業において、水温、塩分、潮流、養殖魚の摂餌状況等のデータ等を収集・活用し、**養殖生産物の生育状況・環境の把握、給餌量の調整及び最適化**など、**生産活動の効率化や省エネ・省力化**といった生産性の向上のために活用するもの。
- (3) その他、ICT、IoT等の先端技術を活用し、**水産資源の持続的利用と水産業の持続的成長の両立の実現に資する**もの。

例：ICTブイ、簡易CTD、遠隔式魚群探知機、自動給餌器、水中ドローン、水中カメラ 等

成果目標の設定及び採択基準について

1. 交付申請時の成果目標の設定について

○事業実施者は「スマート水産機械等導入計画」を作成

- ・ 導入した機械等を活用した取組について成果目標を設定し、設定した目標に応じたポイントを算定。
(審査基準を明示し、申請者自らがポイントを付ける方式)

○成果目標の設定項目（想定）

- ・ スマート水産技術導入の新規性に関する項目（機械等の導入実績の有無）
- ・ 導入する機械等を活用することによる効果（省人・省力化、省エネ等） 等

○成果目標の達成状況の確認

- ・ 成果目標の達成状況は、事業完了年度の翌々年度までに、水産庁に報告。

2. 採択について

○「スマート水産機械等導入計画」の内容を確認し、**採択要件等**を審査

○**成果目標の算定ポイントが高いものから順に採択**

○以下に該当する取組は、**優先的に採択**

「助成の対象となる機械等を用いてデータを収集・活用し、資源評価・管理又は漁場環境把握の高度化や養殖業成長産業化に資する取組を行うもの」

2022年

3月～4月 助成対象機械等の選定
(次回は6～7月予定)

5月 選定機械等の公開
(事業実施主体 (マリノフォーラム21) HPにて公開)

5月～6月 第1次公募 }
8月 (予定) 第2次公募 } (※)

- ※1 第1次公募は優先的に採択を行う取り組みを対象とします。
第2次公募は採択状況を見て実施します。
- ※2 助成の対象とする機械等の募集及び事業実施者の公募については、
事業実施主体 (マリノフォーラム21) が行います。
- ※3 事業の詳細につきましては、別途Q&Aを作成する予定です。